《単位互換提供科目詳細（シラバス）》

* 科目 No. 2907

科目概要記入欄

1. 開設大学名	島根県立大学		科目開講 キャンパス	浜田キャンパス		
2. 科目名	正式科目名	水産経済政策論			クラス名	
	副題				配当年次	3, 4
	旧科目名					
	学問分野	番号	22	名称	政治学	
サテライトで開講される科目の科目群			A群	B群		
3. 担当教員名	三輪 千年					
4. 単位数	2 単位		5. 開講学期	春（集中）		
6. 開講期間 曜日・時間	2020年9月14日（月）～2020年9月16日（水）集中講義 月～水曜日 9:00～18:00					
個別開講日	1回目 9/14	2回目 9/15	3回目 9/16	4回目 /	5回目 /	6回目 /
	7回目 /	8回目 /	9回目 /	10回目 /	11回目 /	12回目 /
	13回目 /	14回目 /	15回目 /	16回目 /	試験日	/
7. 基礎知識の有無	1. 「基礎知識を必要とする科目」 () ②. 「基礎知識を必要としない科目」					
8. 募集人数 (総授業定員)	5 人 (人)		9. 定員超過時の 選考方法	書類選考		

10. 科目内容・授業計画	<p>江戸時代の封建制下における水産業の確立過程を踏まえ、明治維新以降の資本主義下での漁業制度の成立過程を国家政策と絡めて考察し、その後の水産業発展を位置づける。歴史的な視点を通して「水産経済政策」の基礎的な知識を学ぶ。その上で、戦後の水産業の近代化、国際化への対応に向けた政策とその実現過程をグローバルな視点ともに、地域経済の視点も併せて捉え、水産業の今後のあり方を考える。</p> <p>【到達目標】 地域資源を活用した地域産業としての水産政策を、国や地方自治体が実施する課題として捉え、広く国民的な経済厚生の一環として水産政策を論理的に思考・表現できる能力を涵養する。</p> <p>【授業計画】 第1回 プロローグ、産業としての漁業・水産業 第2回 社会の発展と産業－経済政策とは－ 第3回 水産業の特性－自立更新制資源を生産対象とした産業特性－ 第4回 水産経済の意義と特質－食糧産業から食料・食品産業へ－ 第5回 漁業・水産業をめぐる国際関係－国連海洋法会議と国際動向－ 第6回 漁業・水産政策の歴史的展開1－封建制下の漁業政策－ 第7回 漁業・水産政策の歴史的展開2－明治期から昭和初期の漁業政策－ 第8回 漁業・水産政策の歴史的展開3－終戦から戦後復旧の激動期－ 第9回 漁業・水産政策の歴史的展開4－高度経済成長期以降の展開－ 第10回 漁業・水産政策の歴史的展開5－200 カイリ時代から今日まで－ 第11回 200 海里時代の漁業政策とグローバル化 ① 第12回 200 海里時代の漁業政策とグローバル化 ② 第13回 地域経済からみた漁業の振興政策 その1 第14回 地域経済からみた漁業の振興政策 その2 第15回 エピローグ、全体を通じての総合討論</p> <p>【テキスト】 講義テキストは、プリントにて配布する</p> <p>【参考文献】 「ポイント整理で学ぶ水産経済」廣吉勝治・佐野雅昭共著（北斗書房）2008.08 「日本漁業の真実」濱田武士著（ちくま新書）2014.03 「日本人が知らない漁業の大問題」佐野雅昭著（新潮新書）2015.03 「日本の労働市場開放の現況と課題」堀口・三輪他（筑波書房）2017.11</p>						
11. 試験・評価方法	講義では「答え」は与えない。講義を通して、自らの答えを引き出すための「考える力」を身に付けて頂く。講義を“聴く”のではなく、積極的に授業に参加し、一緒に考えてほしい。講義中の質問など授業への参加度と、提出レポートにより成績評価（基礎的知識を踏まえたオリジナリティを重視）を行う。						
12. 別途負担費用							
13. その他特記事項							
14. サテライト科目の社会人受講について	<table border="1"> <tr> <td>科目等履修生（単位付与）として受け入れ</td> <td>可</td> <td>否</td> </tr> <tr> <td>聴講生（単位認定不要）として受け入れ</td> <td>可</td> <td>否</td> </tr> </table>	科目等履修生（単位付与）として受け入れ	可	否	聴講生（単位認定不要）として受け入れ	可	否
科目等履修生（単位付与）として受け入れ	可	否					
聴講生（単位認定不要）として受け入れ	可	否					